

# 子どもたちに 核兵器も基地もない 平和な日本と世界を

憲法・平和・核兵器廃絶  
メールニュース第12号  
2011年8月3日(水)  
全教・国民共同局

## 山口仙二さんが渾身の訴え



世界大会まで、あと4日。長崎の被爆者からの訴えが、感動を広げています。ノーベル平和賞にノミネートされ、昨年11月には長崎新聞文化賞を受けた、山口仙二さん（80歳）は、長崎民医連製作のDVDの中で「世界大会があるというのは、国際的にも大きな力になっている。世界大会をみんなが育てて、世界にアピールしていくのが一番大事なことです」と語っています。この訴えにこたえて、もうひと回り、大会参加者を広げましょう。

### 東日本大震災の被災地に向けて、被爆者の山口さんからエール

山口さんは、「長崎が原爆にやられた時に、立ち上がってがんばった経験をじゅうぶん生かして、がんばってほしい」とエールを送っています。その動画の最後の場面では、山口さんが、1982年ニューヨークの国連本部で開かれた第2回国連軍縮特別総会で渾身の力を振り絞って訴える姿が映し出されます。

**私たち被爆者は訴えます 命のある限り私は訴え続けます**  
**ノーモア ヒロシマ！ノーモア ナガサキ！**  
**ノーモア ウォー！ノーモア ヒバクシャ！**

山口仙二さんの動画は以下のURLで見ることができます。

[www.antiatom.org/Gpress/?p=4108](http://www.antiatom.org/Gpress/?p=4108)

8/3からは、原水爆禁止世界大会国際会議が始まります。そして、8/6ヒロシマデー集会、そして、いよいよ8/7～8/9世界大会 in 長崎です。

今年の世界大会は、①1000人を超える自治体首長と議会議長が核兵器廃絶署名に賛同するなど内外注目する中での大会です。②潘基文国連事務総長の代理としてデュアルテ軍縮問題上級代表の出席する大会です。③広島・長崎の被爆者、フクシマ、世界の核被害者などが一堂に介する大会です。大きく成功させましょう。